



M0085473-01 (ja)
2017年 8月
(日本語版 2017年 9月)



取扱説明書

Caterpillar オリジナルラジオ

安全について

車両の運転、整備、修理時に発生する事故の大部分は、安全確保のための基本的なルールや注意事項を守らなかったことが原因となっています。事故の多くは、あらかじめ考えうる危険状況を認識することによって未然に防ぐことができるものです。作業者は、安全に影響を及ぼす恐れのある人的要因を含む、潜在的な危険に注意しなければなりません。整備作業者はこれらの作業を適切に行うために正しい工具と技術を使用し、専門の訓練を受けていなければなりません。

不適切な方法で車両の運転、給脂、整備または修理を行うことは危険で、重傷事故または死亡事故を招く恐れがあります。

本製品の運転、潤滑、メンテナンス、修理については、その作業の実施が許可されており、運転、潤滑、メンテナンス、および修理に関する情報を読んで理解していることを確かめるまで行わないでください。

本書および車両上には安全上の注意事項が記載されています。これらに留意しないと、作業者自身または周囲の人たちが死亡または重傷を負う可能性があります。

これらの危険は「安全に注意を集中させるシンボル」およびそこに含まれる「標語」、「危険」、「警告」または「注意」で識別されています。例えば次に示す「警告」で目立つように説明されています。



WARNING

この安全警告記号は次のことを意味します。

要注意、危険防止、安全第一。

このシンボルに続いて、予想される危険の内容が説明文または図によって示されます。

製品を損傷する恐れのある運転操作については、製品上および本書内で“注意”ラベルにより明示されている箇所に記載されています（このリストはすべてを網羅するものではありません）。

どこにどんな危険があるかを完全に予知することは、Caterpillarにとって困難な問題です。したがって本書および車両に貼付したラベルに記載されている警告の内容も、必ずしもすべての場合を説明している訳ではありません。作業場所特有の規則や諸注意等、その使用場所で本製品を運転する際に適用されるすべての安全上の規則や注意事項に関して考慮したと確信できない場合は、本書の記載と異なる方法で本製品を使用しないでください。Caterpillar が特に推奨していない工具、作業手順、作業方法、操作技術を使用する場合には、整備作業者は自分自身および周囲の人たちの安全を十分に確かめなければなりません。また、その作業の実施が許可されており、使用する予定の運転、潤滑、メンテナンス、修理の手順によって、本製品が損傷したり、安全性が損なわれたりしないことを確認する必要があります。

本書の説明、整備基準、および写真やイラストは、本書を作成した時点で利用し得た情報にもとづいています。整備基準、締付けトルク、圧力、寸法、調整方法、写真やイラスト等は常に変更されることがあります。これらの変更は、製品の整備作業に影響を与えることがあるので、実施しようとする整備作業について必要な情報を漏れなく集め、最新情報は、Cat ディーラから入手できます。



警告

本製品の交換部品が必要になった場合は、Caterpillarでは当社の交換部品を使用することを推奨しています。

この警告に従わない場合、早期段階での不具合、製品の損傷、作業員の重傷事故または死亡事故などを招く恐れがあります。

アメリカ合衆国では、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換または修理は、所有者の選択によって、修理施設または所有者個人で実施される場合があります。

目次

はじめに	4
------------	---

安全上の基本的注意事項

安全上の基本的注意事項	5
-------------------	---

車両の一般情報

車両識別情報	6
--------------	---

運転操作編

作動.....	10
---------	----

索引編

索引.....	27
---------	----

はじめに

サービス資料の内容

本製品を初めてご使用になる前、および維持管理を行う前に、本書をよくお読みください。本書は、製品資料フォルダまたは製品資料収納場所に保管してください。本書を紛失または破損したり、判読できない状態になったりした場合は、ただちに交換してください。本書には、安全、運転操作、輸送要領、給油および維持管理に関する情報が記載されています。本書に使用した一部の写真またはイラストの詳細またはアタッチメントは、顧客の車両と異なることがあります。ガードおよびカバーは、説明の都合上取り外されていることがあります。当社は常に製品の改良および向上を実施しているため、本書の発行時期の関連でそれらの変更が反映されていないことがあります。使用される製品または本書の内容について疑問が生じた場合は、最新の情報についてお近くのディーラへお問い合わせください。

安全について

本項では（存在する場合）、安全に関する基本的な注意事項について説明しています。さらに、製品に貼付けされた警告ラベルの内容と位置についても明記しています。本項に記載されている基本的な注意事項に目を通してその内容を理解するまでは、本製品の潤滑、整備、修理を行わないでください。

作動

本項は（存在する場合）、経験の少ないオペレータにとっては参考書として、熟練のオペレータにとっては基本を再確認する手引書としてご利用いただけます。本項では、ゲージ、スイッチ、車両コントロール、アタッチメントコントロール、輸送要領およびけん引要領について説明しています（該当する場合）。写真およびイラストは、車両の点検、始動、運転および停止の正しい手順を示しています。本書に示した運転操作は基本的なものです。運転操作の熟練度および技術は、オペレータが車両およびその性能について理解するのに従って向上します。

製品情報

本項には（存在する場合）、仕様データ、製品用途、製品識別プレートの位置および認証情報が記載されています。

保守整備編

本項は（存在する場合）、装置の手入れをする際のガイドとしてご利用いただけます。装置およびシステムの正常な動作を維持するためには、適切な維持管理と修理が欠かせません。お客様は車両所有者として、オーナーマニュアル、取扱説明書および整備解説書に記載されている必要な維持管理の実施に対して責任を負います。「給油整備間隔」には、特定の整備間隔で維持管理すべき項目が一覧表で示されています。特定の間隔がない整備項目は、「不定期の整備」の整備間隔の下にリストアップされています。給油整備間隔は、定期整備に必要な項目のページ番号のリストを順序に従って示しています。すべての維持管理手順では、この給油整備間隔を指針または安全の基準の一つとして使用します。

保守整備の間隔

サービスアワーメータを使用して整備間隔を決めます。暦日による整備間隔（毎日、毎週、毎月等）の使用が一段と便利な整備間隔でそれがサービスアワーメータの読みとほぼ一致するときは、暦日の整備間隔をサービスアワーメータの間隔の代わりに使用することができます。この場合、いずれか先に生じた整備間隔で必ず整備をします。極めて苛酷な運転条件、埃が多いまたは湿気の多い運転条件下では、規定の整備間隔より短い間隔での整備が必要になることがあります。各項目の整備では、最初に設定の条件を重ねて実施します。例えば、500サービス時間または3ヶ月ごとの整備では同時に250時間または毎月および10サービス時間または毎日の項目に示された整備を実施します。

製品の能力

アタッチメントの追加や改造を行うことにより、製品の設計能力を超えることがあります。その場合、製品の性能特性や安全性、信頼性、適用される認証に悪影響を与えるおそれがあります。詳細については、お近くのディーラにお問い合わせください。

安全上の基本的注意事項

i07150737

安全上の基本的注意事項

SMCSコード: 7606



警告

取扱説明書の説明と警告をよく読み理解するまでは、この装置の運転や整備などの作業をしてはなりません。説明に従わない場合や警告を無視した場合、重傷事故または死亡事故が生じる恐れがある。交換マニュアルについては、Caterpillarディーラにお問い合わせください。適正な維持管理を行うことは自己責任である。

前書き

本書は対象機器の取扱説明書を補足するものです。常に対象機器の取扱説明書と一緒に本書を保管してください。

Introduction

この文書は、Caterpillar AM/FMラジオシステムの操作に関する情報を提供します。

対象機器の取扱説明書の指示および警告を読み、それらの指示および警告を理解していなければ、機器の操作およびメンテナンスを行ってはなりません。この文書の内容を理解してから、Caterpillar AM/FMラジオシステムを搭載する機器を操作する必要があります。

警告および遵守

この製品をお買い上げいただきありがとうございます。このマニュアルを注意深く読んでから操作してください。またこのマニュアルは、今後の参照用に保存しておいてください。

注意事項

- ・ マイナス接地の12 V DC電気システムでのみ使用してください。
- ・ このユニットを搭載および接続している間は、車両のバッテリーマイナスターミナルを切り離してください。
- ・ ヒューズを交換する際は、必ず同じアンペア定格のものを使用してください。
- ・ アンペア定格が高いヒューズを使用すると、このユニットに深刻な損傷が発生する恐れがあります。

- ・ ピンまたは障害物がこのユニットの内部に入らないようにしてください。ピンや障害物は、誤作動、もしくは感電などの安全上の問題を引き起こす恐れがあります。

- ・ 高温または低温の環境で車両を長時間駐車していた場合、車両の温度が常温になるまで待機してから、このユニットを操作してください。

運転準備

ボリュームを高く上げすぎないでください。ボリュームは、外の警告音（ホーン、サイレン等）が聞こえるくらいのレベルに維持してください。

複雑な作業を実施する前には、車両を停止させてください。

注意

カバーを開けたり修理したりしないでください。お近くの認定ディーラに支援を依頼してください。

注記:モデルによって、接続するワイヤリングハーネスが異なります。個々の内容の規定については、型式ラベルを参照してください。

注記:技術的な向上のため、仕様および設計を予告なく変更する場合があります。

取扱説明書（OMM, Operation and Maintenance Manuals）は現在次のURLで入手できます: www.cat.com/radio-owners-manual.html

この製品の使用中に直接インターネットにアクセスできない場所にある機器または携帯機器については、紙のOMMを印刷して製品と一緒に備えておく必要があります。

詳細または紙のOMMについては、次のURLで最寄りのCatディーラを探してご連絡ください: www.cat.com/en_US/support/dealer-locator.html

車両の一般情報

車両識別情報

i07150739

法規制の順守

SMCSコード: 7606

FCCに関する注意事項

次の注意事項を提供します。

改造に関する声明

Caterpillarは、ユーザによるこの装置に対するいかなる変更または改造も認めません。変更または改造があった場合は、ユーザの機器を操作する権利は無効となります。

干渉

この装置は、FCC規則のパート15およびIndustry Canadaのライセンスに適合しています（RSS規格は除く）。作動は次の2つの条件を前提とします。
(1) この装置は干渉を発生させない。(2) この装置は、この装置の不要な作動を生じる可能性がある干渉を含めて、いかなる干渉をも許容しなければならない。

放射線被ばく

この装置は、非管理環境について規定されたFCC/IC放射線被ばく限度に適合し、FCCの電波（RF, radio frequency）被ばくガイドラインに適合しています。電波被ばくガイドラインは、OET 65についての補遺Cに記載されています。この装置は、IC電波（RF）被ばく規則のRSS-102にも適合しています。アンテナの近傍にトランスミッタを配置したり、他のアンテナやトランスミッタを作動させたりしないでください。

FCCクラスBデジタル装置に関する注意事項

この機器には試験を実施し、FCC規則のパート15に適合するクラスBのデジタル装置の規制に適合していることが証明されています。この規制は、個人の家に取り付けられた場合に有害な障害に対して適正な保護を提供するように設定されています。この機器は、電波エネルギーを発生、使用し、放射することがあります。この機器の取付けおよび使用に際して指示に従わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす恐れがあります。それでも、特定の設定で電磁干渉が発生しないという保証はありません。この機器が無線およびテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、機器の電源を切ったり入れたりすることで確認できます。次の1項目以上の方策により、ユーザが干渉の是正を試みることを奨励します。

- ・ 受信アンテナの方向と設置場所を変更します。機器と受信機の間隔を広げます。
- ・ 機器を受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- ・ ディーラまたは無線/テレビの専門技術者に相談します。

明示的な承認なくこの機器を変更または改変すると、この機器を使用する権利が無効になる場合があります。

CAN ICES-3 (B) /NMB (B)

このクラスBデジタル装置は、カナダのICES-003に適合しています。

簡易的なEU適合宣言書/RED 2014/53/EU指令

この装置は、2014/53/EU指令の必須要件に対して評価されています。

無線周波数範囲

以下に記されているDriver Safety System（ドライバ安全システム）通信装置の仕様は、関連する危険評価の実施に役立て、現地のあらゆる法規を遵守するためのものです。

表 1

Bluetooth	
周波数範囲:	2,402 ~ 2,480 MHzの搬送周波数
最大電波出力:	+4 dBm
変調:	GFSK: $\pi/4$ -DQPSKおよび8DPSK
チャンネル間隔:	1 MHz

(続き)

(表 1、続き)

Bluetooth	
チャンネル数:	79
チャンネルバンド幅:	1 MHz (GFSKの場合) ,
アンテナ形式:	Amotechブランド, 部品番号: AL.A321C3 , チップアンテナ/ゲイン2.3 dBi
アンテナゲイン:	最大+2.3 dBi

注記:DEA 500ラジオは、ベルギーにおいて、該当するベルギーの電波スペクトルの使用要件に抵触することなく使用できます。

表 2

AM	
周波数範囲:	531 kHz ~ 1,602 kHz
最大電波出力:	+/- 6 dBi (標準)
変調:	振幅変調
チャンネル間隔:	9 kHz
アンテナ形式:	0.75 m標準モノポール
アンテナゲイン:	0 dBuV ~ 130 dBuV

表 3

FM	
周波数範囲:	87 MHz ~ 108 MHz
最大電波出力:	+/- 6 dBi (標準)
変調:	周波数変調
チャンネル間隔:	100 kHz
アンテナ形式:	0.75 m標準モノポール
アンテナゲイン:	0 dBuV ~ 130 dBuV

表 4

英語	これにより, Caterpillar は, このDEA500が指令2014/53/ECの必須要件および他の関連条項に適合していることを宣言します。
----	---

2014/53/EC指令の必須要件を満足するため、この製品は次の基準に準拠しています。

Caterpillarは単独の責任において、次の製品が指令2014/53/EUおよびカーラジオの必須要件に準拠していることを宣言します。

型式指定:

- ・ DEA500
- ・ ハードウェアRev AソフトウェアRev Bサービス

- ・ 周波数範囲および最大出力: Bluetooth 2, 402 ~ 2,480 Mhz, 4 dBm (2.5 mW) EIRP (実効輻射電力)
- ・ AM 531 ~ 1,602 kHz
- ・ FM 87.5 ~ 108.0 MHz

指令2014/53/ECによる適合性評価は、次の公認機関の参画により実施されました: DEKRA Testing and Certification no: 1909, S.A.U. Parque Tecnológico de Andalucla C/Servero Ochoa 2 29590 Campanillas - Malaga SPAIN。EU形式の試験を実施し、証明書: 53627NRB.001を発行。

表 5

3.1 (a) : ユーザの健康と安全	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A12:2011 + AC:2011 + A2:2013
3.1 (b) : 電磁両立性	EN 301 489-1 V2.2.0, EN 301 489-17 V3.2.0, EN 55020:2007+ A11:2011
3.2: 割当て周波数の有効利用	EN 300 328 V2.1.1, EN 303 345 V1.1.1

欧州連合の全加盟国において、この装置の商品化に制限はありません。

i07150740

順守宣言

SMCSコード: 7606

表 6

CATERPILLAR® EU適合宣言書

この適合宣言書は、製造者の単独の責任の下で発行されます。

代表署名製造者:

Caterpillar社

100 N. E. Adams
Peoria, IL 61629
USA

以下、この製品について宣言します。この記述の対象:

Caterpillar DEA500モデル、娯楽用ラジオ

ブランド:
Caterpillar

モデル: DEA500

部品番号: **462-9618, 462-9619, 462-9620, 462-9621, 439-1562, 439-1563, 439-1564**

該当するEU整合法令、指令2014/53/EUに適合しています。

適合は、次の文書の該当する要件を遵守することで示します。

適合施評価手順: ____Annex II, ____ X ____Annex III, ____Annex IV

2014/53/EU	LVD (Sec 3. 1a) :	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A12:2011 + AC:2011 + A2:2013
		EN 62479:2010
	EMC (Sec 3. 1b) :	EN 301 489-1 V2. 2. 0
		EN 301 489-17 V3. 2. 0
		EN 55020:2007+ A11:2011
		EN 55032:2015
		EN61000-3-2:2006 + A1:2009 + A2:2009
	RF (Sec 3. 2)	EN 61000-3-3:2008
		EN 300 328 V2. 1. 1
		EN 303 345 V1. 1. 7 (最終案)

表 7

公認機関名: Dekra Testing and Certification, S. A. U.

公認機関番号: 1909

検査証番号: 53627RNB. 001

Signature:**Name:** James Morrison**Title:** Engineering Manager - 3**Place:** Mossville, IL USA**Date:** 8/7/2017

運転操作編

作動

i07150738

ラジオ

(娯楽用、装着の場合)

SMCSコード: 7338

⚠ 注意

運転中は、常に視線を道路から外さず、手はステアリングホイール上に保持し、通常の運転に必要な操作に集中するようにしてください。運転者には、車両の安全な運転を継続する責任が課されています。運転中に道路への視線の維持およびステアリングホイール上で手の保持を怠ると、自分自身や第三者に危害が及ぶ可能性があります。

Introduction

このオーナーズマニュアルに記載の情報は、発行の時点で正確なものです。ただしCaterpillarは、予告なく性能などを変更する権利を留保します。印刷の時点以降に行われた変更に関する詳細については、お近くのディーラにお問い合わせください。

このラジオシステムは、ボタン、RSA、あるいはステアリングホイールコントロールを使用して操作します。

ステレオレシーバ



図 2

g03566500

MP3/USB/iPod/Aux/Bluetoothレシーバ



図 3

g03566527

MP3/USB/iPod/Aux/Bluetooth/CDレシーバ



図 4

g03566571

MP3/USB/iPod/Aux/Bluetooth/CD/SATレシーバ

ラジオのピン配列

ラジオのピン配列は次に示すとおりです。

Cavity	Pin#	Function	I/O
A1	1	CAN-High	I/O
A2	2	CAN-Low	I/O
A3	3	Park Lights	I
A4	4	Ignition	I
A5	5	PWR_ANT/PA_MIC_PWR	O
A6	6	Dim PWM/ANALOG	I
A7	7	Battery	I
A8	8	Power Ground	I
B1	9	RR + (Speaker)	O
B2	10	RR - (Speaker)	O
B3	11	RF + (Speaker)	O
B4	12	RF - (Speaker)	O
B5	13	LF + (Speaker)	O
B6	14	LF - (Speaker)	O
B7	15	LR + (Speaker)	O
B8	16	LR - (Speaker)	O
C1	17	Power Ground	I/O
C2	18	Amp Sense	I
C3	19	Not connected	
C4	20	Cell_Tel_Mute	I
C5	21	ASWC (Analog Steering Wheel Control)	I
C6	22	Not connected	
C7	23	L_AUX_N 1	I
C8	24	AUX_SHIELD_GND	I
C9	25	AUX_1_COM	I
C10	26	R_AUX_N 1	I
C11	27	AUX_1_ON_OFF	I
C12	28	Not connected	
C13	29	Not connected	
C14	30	Not connected	
C15	31	MIC+ (BAT)	I
C16	32	MIC- (BAT)	I
C17	33	Not connected	
C18	34	Not connected	
C19	35	Not connected	
C20	36	Not connected	

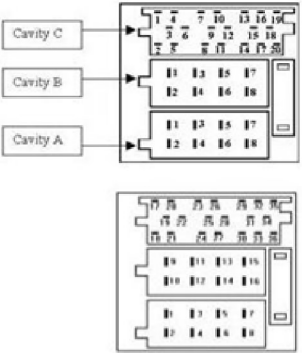


図 5

g03566584

一般的なラジオレシーバの機能

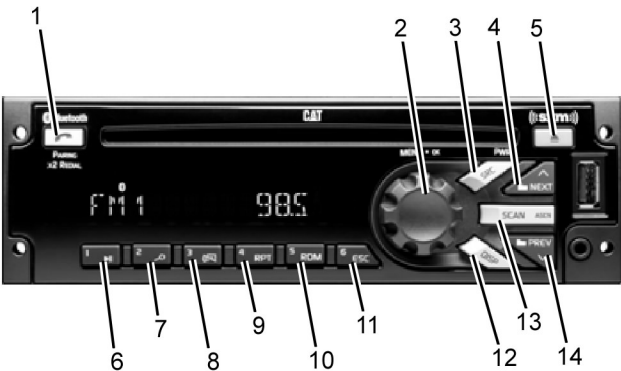


図 6

g03566592

- (1) 電話番号
- (2) ノブ
- (3) SRC/PWR (ソース/電源)
- (4) 次の速度段
- (5) 取り出し
- (6) 再生/一時停止
- (7) ブラウズ
- (8) クロック/アラーム
- (9) RPT (リピート)
- (10) RDM (ランダム)
- (11) ESC (エスケープ)
- (12) DISP (ディスプレイ)
- (13) SCAN/ASCN (スキャン/自動スキャン)
- (14) PREV (前へ)

オプション

- ・ AM 1バンド, AMプリセット数6局
- ・ FM 3バンド, 合計FMプリセット数18局
- ・ 気象 (WX) 1バンドプリセット, WXプリセット数6局

SRC/PWR (ソース/電源)

これを押すと, FM → AM → WX → SXM → CD → USB/ iPod → AUX → Bluetoothオーディオ (装着の場合) およびラジオのON切替えが行われます。押し続けると, ラジオがOFFになります。

1時間タイマ

イグニッションがオフの状態でSRC/PWR (ソース/電源) ボタンを押すとレシーバがオンになり, レシーバの1時間タイマが作動します。レシーバは, 1時間が経過するか, SRC/PWR (ソース/電源) ボタンを押して保持するとオフになります。

ボリュームノブ/OK

素早く押す（3秒より短く）と、オーディオコントロール用メニューが表示されます。これを3秒以上押すと、ユーザ用メニューが表示されます。この回転操作でボリュームの増減が行え、メニュー表示中はナビゲーション操作が行えます。メニュー表示中にこれを押すことは、選択した操作の確認となります。

PREV（前へ/戻す）

これを押すと、1つ前のトラックやステーションを選択します。押し続けると、高速巻戻し（FR）またはチューニングダウンとなります。

NEXT（次へ/進む）

これを押すと、次のトラックまたはステーションの選択が行われます。押し続けると、早送り（FF）またはチューニングアップとなります。

取り出し

これを押すとCDが取り出されます。

電話（装備されている場合）

電話ボタンを3秒以上押すと、Bluetooth用メニューが表示されます。Bluetoothの有効化中にこのボタンを押すと、ダイヤル用メニューの表示または着信コールの受信になります（電話がペアリングされている場合）。通話中にこのボタンを3秒以上押すと、ラジオの通話が電話に転送されます。

クロック/アラーム

アラーム作動中にこれを押すと、アラームが解除されます。

SCAN/ASCAN

ステーション/CDトラック/MP3/WMAのファイルおよびフォルダ、チューナ、ストア、プリセットされたステーションをスキップします。

再生/一時停止

これを押すと、現在再生中のメディアの一時停止/一時停止解除が行われます。

RPT（リピート）

これを押すと、現在のトラックがリピートされます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能がONであるかOFFであるかは、ラジオディスプレイのRPT（リピート）アイコンで確認できます。

ブラウズ

これを押すと、デバイスのナビゲーション操作や、特定の楽曲や再生コンテンツでの選択操作が行えます（USBメモリ、CD MP3ディスク、およびiPodで利用可能）。

RDM（ランダム）

これを押すと、トラックのランダム再生が行われます。再度これを押すと、ランダムモードが解除されます。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM（ランダム）アイコンで確認できます。

ESC（エスケープ）

これを押すと、メニューの表示レベルが1つ繰り上がります。

システムにBluetoothが装備されている場合、Bluetooth通話作動中にESC（エスケープ）ボタンを押すと、通話を拒絶またはキャンセルします。

DISP（ディスプレイ）

車両のイグニッションがONにされている状態でこれを押すと、ソースディスプレイが変更されます。

3秒以上押すと、少しの間時計が表示されます。

ラジオ（オーディオソース）

AM, FM, WX, SXM（装着の場合）、iPod, USB, リアAUX, フロントAUX, CD, またはBTオーディオにアクセスするには、次のいずれかを行います。

1. SRC（ソース）ラジオボタンを押してオプションをスクロールさせ、希望のオプションを選択します。
2. SRC（ソース）ラジオボタンを押し、次にノブを回すかNEXT（次へ）/PREV（前へ）を短く押してソースメニューをスクロールさせ、さらにノブを短く押して選択します。

CD/MP3, USB/iPod, フロントAUX, およびBTオーディオにアクセスできるのは、ラジオのモデルがそれらに対応し、デバイスが該当するソースに接続または差し込まれている場合のみです。

デバイスが同時に異なるソースに接続されている場合、その機能性は保証されないことに留意してください（デバイスに依存）。例：フロントAUXとBluetooth, あるいはUSBとBluetoothを介して同時に接続されているデバイス。

AM-FM-WXラジオ

チューニング：メニューの項にある手順に従って、希望する“Tuner Configuration”（チューナコンフィギュレーション）に設定します。

ラジオがマニュアルに設定されていると、ラジオでは次の機能を実行できます。

- ・ NEXT（次へ）またはPREV（前へ）ボタンを短く押すと、マニュアルチューニングが実行されます。
- ・ NEXT（次へ）またはPREV（前へ）ボタンを長く押すと、シークが実行されます。

ラジオがオートに設定されていると、ラジオでは次の機能を実行できます。

- ・ NEXT (次へ) または PREV (前へ) ボタンを短く押すと、シークが実行されます。
- ・ NEXT (次へ) または PREV (前へ) ボタンを長く押すと、マニュアルチューニングが実行されます。

マニュアルチューニング

現在の周波数は、1ステップで0.2 MHz (米国FMモード)、10 kHz (米国AMモード)、WXモードでは1チャンネル (25 kHz) ずつ増加/減少します。

放送局のシーク

シーク機能が作動すると、ラジオは同調可能な放送局が見つかるまで周波数を増加/減少させます。

同調可能な放送局が見つからない場合、ラジオは“NO STATION FOUND” (放送局が見つかりません) と表示します。

プリセット

ラジオ局プリセットの保存:

1. 希望の周波数にチューニングし、続いてラジオがビーブ音を鳴らすまで、プリセット (1~6) ボタンのいずれかを長く押します。

ラジオ局プリセットのチューニング:

1. プリセット (1~6) ボタンのいずれかを短く押します。ボタンを離すと、プリセット位置に保存された周波数にチューニングされます。

スキャン

スキャン機能を開始させるには、SCAN/ASCN (スキャン/自動スキャン) ボタンを短く押します。スキャンが始まると、ラジオは周波数を増加させて放送局を探し、次の強力な周波数で8秒間停止してから、次の強力な放送局を探します。

バンドを2回通過して放送局が見つからない場合、ラジオは“NO STATION FOUND” (放送局が見つかりません) と表示し、続いて開始した周波数にチューニングされます。

自動スキャン

この機能は、ラジオの電源がオフになるかソースが変更されるまで、現在のバンドで最も電波が強い6局をプリセットに一時的に保存するものです。

自動スキャンでは、周波数は数値順ではプリセットに保存されません。周波数は、見つかった順番および周波数の質に基づいて保存されます。

自動スキャン機能を開始するには、ラジオがビーブ音を鳴らすまでSCAN/ASCAN (スキャン/自動スキャン) ボタンを長く押します。ラジオが一時的なプリセットを保存している間、“AUTO SCAN” (自動スキャン) アイコンが点滅します。

保存プロセスが完了すると、ラジオはプリセット1に保存された放送局にチューニングし、このモードが有効な間は“AUTO SCAN” (自動スキャン) アイコンが点灯します。

6つの周波数のいずれかにチューニングするか、新しいプリセットを保存するには、プリセットの項に定められている手順に従います。

このモードから抜けて本来のプリセットに戻るには、次のいずれかの操作を実行します。

1. SCAN/ASCAN (スキャン/自動スキャン) ボタンを押して保持します。
2. SRC/PWR (ソース/電源) ボタンを押します。
3. ラジオをオフにします。
4. イグニッションを切って再び入れます。
5. バッテリーを切り離します。

WX

WXバンドは米政府の提供する気象ラジオサービス用の周波数を意味し、このラジオでは7つの気象チャンネルにチューニングできます。具体的な手順は、チューニング、プリセット、およびスキャンの項の説明を参照してください。

SXM (装着の場合)

有効なSiriusXM®衛星ラジオの視聴登録がされている場合、SiriusXMプログラムの受信が可能です。SiriusXMは様々なプログラムおよび商用-フリーミュージックを提供する衛星ラジオで、デジタル品質のサウンドを北米大陸全域に放送しています。

SiriusXM®

SXMディスプレイ

SiriusXMを有効にすると、画面上にチャンネル番号、チャンネル名、アーティスト名/コンテンツ情報、曲タイトル、またはカテゴリ名を表示できます。SiriusXMの情報については、随時アップデートされている場合があります。

“DISP” (ディスプレイ) ボタンを短く押すと、現在の表示ビューを変更できます。

新しいチャンネルの選択、楽曲の変更、SXMソースの選択 (電源投入またはソース変更)、または情報のアップデートがされた場合、ページングによってすべての要素が表示されます。“DISP” (ディスプレイ) ボタンを短く押すとページングを停止できます。

ディスプレイでの表記

このラジオのテキスト表示では、次の略号が用いられています。

- ・ チャンネル番号: CH
- ・ チャンネル名: CH
- ・ アーティスト名: ART
- ・ コンテンツ情報: INFO
- ・ 曲タイトル: SONG
- ・ カテゴリ名: CAT

SXMのカテゴリ

SiriusXMの放送ステーションはカテゴリごとに分類されています。

SXMのカテゴリ一覧については次のWebページを参照してください。<http://www.siriusxm.com/sxm/pdf/sirius/channelguide.pdf>

現在のカテゴリを変更するには、NEXT/PREV（次へ/前へ）ボタンを長く押します。すると、ラジオは次か前のカテゴリの最初のチャンネルにチューニングされます。

カテゴリモードの有効化/無効化

カテゴリサーチモードの有効化は、現在のカテゴリにあるチャンネルだけをサーチさせることを意味します。これを有効化すると、CATEGORY（カテゴリ）アイコンが点灯します。

カテゴリサーチモードの無効化は、すべてのチャンネルをサーチさせることを意味します。これを無効化すると、CATEGORY（カテゴリ）アイコンが消灯します。

カテゴリ閲覧モードを有効化/無効化するには、“ユーザメニュー”の項の手順に従います。

電源投入後のデフォルト設定では、カテゴリは無効化されています。

SXMチャンネルの選択

プリセットおよびスキャン機能は、AM-FM-WXラジオのスキャンと同様です。

NEXT（次へ）ボタン

SXMラジオの使用時、利用可能な次のチャンネルに数値順でスクロールさせます。

PREV（前へ）ボタン

SXMラジオの使用時、利用可能な前のチャンネルに数値順でスクロールさせます。

注記:SXMサービスのアクティベーションがされていない場合は、無料チャンネルだけが示されます。

SXMラジオID

チャンネル0にチューニングすると、“RADIO ID”（ラジオID）のラベルとSXMラジオの8桁コードが交互に切り替わります。このコードはサービスのアクティベーションに必要となります。

チャンネル0では“DISP”（ディスプレイ）ボタンは機能しません。カテゴリモードの有効化中は、チャンネル0を利用できません。

SXMのメッセージ

SXM BUSY（SXMが実行中です） - オーディオシステムでオーディオやテキストデータの取得と処理が実行されています。ここで必要とされる操作はありません。

ART UNAVAIL（アーティスト名がありません） - 現在の楽曲に関連付けられたアーティスト名はありません。

SONG UNAVAIL（曲名がありません） - 現在の楽曲に関連付けられた曲名はありません。

CHAN UNAVAIL（チャンネル名がありません） - 現在のチャンネルに関連付けられたチャンネル名はありません。

CHECK ANTENNA（アンテナをチェックしてください） - SXM用のアンテナやアンテナケーブルがラジオに接続されていないか、アンテナが短絡しています。

NO SIGNAL（信号がありません） - SXMチューナモジュールが無信号状態であると報告しています。先に解説したように、この状態でのみチャンネル0が利用できます。

CHAN UNSUB（チャンネルが登録されていません） - アクティブなチャンネルが登録解除されたか、要求されたチャンネルが登録されていません。

SUBSCRIPTION UPDATED - PRESS OK TO CONTINUE（登録がアップデートされました - “OK”を押して続行してください） - ラジオの登録がアップデートされました。メッセージを消去して以前の状態に戻すには“OK”（ノブ）を押します。

CH UNAVAIL（チャンネルが利用できません） - 新規に選択したチャンネルまたは現在選択されたチャンネルについて、要求されたチャンネルが利用できないと報告されました。利用できないチャンネルとは、チャンネルに関する法的な権利に問題はないが、現状で放送サービスとしての登録や表示が不可能な状態になっていることを意味します。3秒が経過すると、以前のチャンネルに戻るか（利用できる場合）、チャンネル1へのチューニングが行われます。

iPod

このラジオは、次のモデルのiPodに対応しています。

- ・ iPod classic（第6世代）

- ・ iPod nano (6G)
- ・ iPod touch (4G)
- ・ iPhone (3G, 3GS, 4, および4S)

その他のiPodも再生できる場合がありますが、機能は保証されません。

ラジオから最大1 A給電されますので、必要電流が1 A未満のデバイスは、USBに接続すると充電されます。

次の状況においては、操作および機能に問題が生じる場合があります。

- ・ このラジオが対応するファームウェアより新しいバージョンがインストールされているiPodを接続した場合
- ・ 他のプロバイダの手によるファームウェアがインストールされているiPodを接続した場合

iPodからの再生

iPodの接続方法：

1. 標準のiPod USBケーブルの一端をiPodのドックコネクタに接続します。
2. 他端をフロントラジオディスプレイにあるUSBポートに接続します。
1. ラジオがUSBの再生を開始し、トラック番号、曲、アーティスト、経過時間、およびアルバム情報があれば表示します。
2. iPodの音楽情報がラジオのディスプレイに表示され、車両のオーディオシステムを通じて再生が開始されます。
3. iPodが非対応モデルの場合でも、一般の3.5 mm (1/8 in) ステレオケーブルを使用してAUX入力ジャックに接続して、車両で聞くことができます。

iPod接続時の予想される作用：

- ・ iPodのバッテリーは、車両がオンの間は自動的に充電されます。
- ・ 車両をオフにすると、iPodがオフになり充電が停止します。

iPodメニュー

次の手順を適用してiPodメニューに進みます。

1. USBソース (iPod接続状態) が有効な状態で拡大鏡 (プリセット1) ボタンを押し、iPodメニューにアクセスします。
2. ボリュームノブまたはNext/Prev (次へ/前へ) ボタンを使用して、種々のオプションを操作します。

3. iPodメニューを使用して選択します。

プレイリスト：

次の手順を適用してプレイリストに進みます。

1. iPodにて、プレイリストを押して表示させます。
2. プレイリスト名を選択して、そのプレイリスト内の全曲のリストを表示させます。
3. リストから曲を選択して再生を開始させます。

アーティスト：

次の手順を適用してアーティストに進みます。

1. iPodにて、アーティストを押して表示させます。
2. アーティスト名を選択して、そのアーティストによる曲を含む全アルバムのリストを表示させます。
3. アルバムを選択します。
4. リストから曲を選択して再生を開始させます。

アルバム：

次の手順を適用してアルバムに進みます。

1. iPodにて、アルバムを押して表示させます。
2. アルバム名を選択し、アルバムの全曲のリストを表示させるか、全曲を選択し、iPodにある全曲を表示させます。
3. リストから曲を選択して再生を開始させます。

ジャンル：

次の手順を適用してジャンルに進みます。

1. iPodにて、ジャンルを押して表示させます。
2. ジャンル名を選択して、そのジャンルのアーティストのリストを表示させます。
3. アーティストを選択してアルバムを表示させるか、全アルバムを選択してそのジャンルの全アルバムを表示させます。
4. アーティストを選択してアルバムを表示させます。
5. アルバムを選択して曲を表示させます。
6. リストから曲を選択して再生を開始させます。

ポッドキャスト

次の手順を適用してポッドキャストに進みます。

1. iPodにて、ポッドキャストを押して表示させます。

- ポッドキャスト名を選択して再生を開始させます。

曲

次の手順を適用して曲に進みます。

- iPodにある全曲のリストを押して表示させます。
- リストから曲を選択して再生を開始させます。

作曲者

次の手順を適用して作曲者に進みます。

- iPodにて，作曲者を押して表示させます。
- 作曲者を選択して，その作曲者による曲のリストを表示させます。
- リストから1曲選択して再生を開始させます。

オーディオブック

次の手順を適用してオーディオブックに進みます。

- iPodにて，オーディオブックを押して表示させます。
- リストからオーディオブックを選択して再生を開始させます。

iPhoneまたはiPod Touchで，iOSがiOS 5.0より低いものをUSBやBluetoothを介して接続すると，iPodソースの選択時，音声が開聞こえない場合があります。この状況を修正するには，電話機のドックコネクタを選択するか，Appleデバイスを切り離して再接続します。

注記：iOSはAppleのオペレーティングシステムです。

次のコントロールを使用してiPodによる再生を行います。

PREV（前へ） - これを押すと，現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記：トラックの再生が10秒未満の場合，前のトラックへ移動します。10秒より長いと，現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT（次へ） - これを押すと，次のトラックへ移動します。

FF/FR（早送り/巻戻し） - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには，Next（次へ）またはPREV（前へ）ボタンを押して保持します。

RDM（ランダム） - これを押すと，トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと，シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは，ラジオディスプレイのRDM（ランダム）アイコンで確認できます。

RPT（リピート） - これを押すと，現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと，リピートが停止します。この機能がONであるかは，ラジオディスプレイのRPT（リピート）アイコンで確認できます。

エラーメッセージ - “UNSUPPORTED”（非対応） というメッセージが表示されたら，次の理由のいずれかが該当する可能性があります。

- 接続されたiPodが非対応（対応するiPodのリストについてはXページ参照）。
- iPodがラジオのコマンドに無反応。この場合，iPodをリセットして再接続してみます。

“NO MUSIC”（曲なし） というメッセージが表示される場合，次の理由が該当する可能性があります。

- iPodに再生可能なファイルが存在しない。

USB

USBからの再生

USBポートには，USB大容量記憶装置を接続することができます。

USBポートは，ラジオディスプレイの前面にあります。

このポートからの5 V DC出力は，1 Aまでに制限されています。これより大きい電流を必要とするiPodのようなデバイスは，このポートでは充電されません。

USB MP3プレーヤーおよびUSBドライブ。 接続するUSB MP3プレーヤーおよびUSBドライブは，次のUSB大容量記憶装置の仕様に準拠している必要があります。

- MS-DOSパーティションのみ
- クラス仕様（ESB MSC）。FAT32，FAT16，NTFS，およびHFS+の各フォーマットに対応。
- ハードディスクドライブも場合によっては再生可能。ただし保証外。
- このラジオでは書き込み禁止の楽曲は再生不可。
- MTPプレーヤーは非対応。

MP3ファイル作成の際は，次のガイドラインを満足する必要があります。そうでない場合，ファイルを再生できない可能性があります。

MP3ファイルの場合：

- ビットレート：32，40，48，56，64，80，96，112，124，160，192，224，256，320 kbps（MPEG-1 Audio Layer 3）。
- サンプリング周波数：32，44.1および48 kHz（MPEG-1 Audio Layer 3）。

- ・ 最大フォルダ数: 8フォルダ。各フォルダに255ファイルまで。
- ・ 1つのディスクに最大1,000ファイル。
- ・ M3UおよびPLSプレイリストの各バージョンに対応。
- ・ 容量700 MBのCD-RまたはCD-RWへの記録。

プロテクトなしのWMAファイルの場合:

- ・ バージョン: 1, 2, 7, 8, 9および9.1。
- ・ ビットレート: 32 ~ 320 kbps。
- ・ サンプリング周波数: 32 ~ 48 kHz。

USBデバイスの再生

次の手順を適用してUSBデバイスに進み再生します。

1. USBを接続すると再生が始まります。
2. SRC (ソース) ボタンを使用してUSBソースを選択します。
3. ラジオがUSBの再生を開始し、トラック番号、曲、アーティスト、経過時間、およびアルバム情報があれば表示します。

次のコントロールを使用してディスクの再生を行います。

PREV (前へ) - これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT (次へ) - これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR (早送り/巻戻し) - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを押して保持します。

RDM (ランダム) - これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM (ランダム) アイコンで確認できます。

RPT (リピート) - これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRPT (リピート) アイコンで確認できます。

上のフォルダー - これを押すと、次のフォルダが選択されます。

注記: 特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1にジャンプして再生を開始します。

下のフォルダー - これを押すと、前のフォルダが選択されます。

注記: 特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1にジャンプして再生を開始します。

SCAN (スキャン) :

- ・ 短く押すと、現在再生中の部分をスキャンし始めます。
- ・ 長く押すと、トラック1からデバイス全体をスキャンします。

エラーメッセージ - "UNSUPPORTED" (非対応) というメッセージが表示されたら、このエラーには、次の理由のいずれかが該当する可能性があります。

- ・ 対応していないフォーマットまたはパーティションのUSBデバイスまたはMPTプレーヤが接続されている場合。
- ・ デバイスが壊れている場合。
- ・ 接続されたデバイスが大容量記憶装置として接続されていない場合。

"NO MUSIC" (楽曲なし) というメッセージが表示された場合、再生できるMP3ファイルまたはプロテクトなしのWMAファイルが存在しない可能性があります。

フロントAUX

フロントAUXモードでは、iPod®またはMP3プレーヤ等の外部デバイスをレシーバ前部にあるAUX入力ジャックを介して再生できます。

外部デバイスを使用するには、AUX入力ジャックを介してデバイスを接続するだけです。

フロントAUXモードは、レシーバ前部のAUX入力ジャックにデバイスが接続されていない場合は利用できません。

リア補助

リアAUXモードでは、レシーバのリアパワーAUX入力ラインを介して接続した外部デバイスを再生できます。

外部デバイスを使用するには、AUX入力ジャックを介してデバイスを接続し、ソースボタンを使用して選択するだけです。

リアAUXソースは、リア入力にデバイスが取り付けられていなくても利用できます。

Bluetooth（装着の場合）

このラジオは、Bluetoothデバイスに接続できます。この機能を使用するには、ご使用のデバイスにBluetoothが必要で、このラジオにペアリングして接続する必要があります。

ほとんどのBluetoothデバイスに対応しています。

このラジオには最大10個のデバイスを接続でき、ラジオは、前回ペアリング/接続したデバイスから開始し、最初の利用可能なペアリング済みのデバイスに接続します。

電話ボタンを3秒以上押すと、Bluetoothメニューが利用可能になります。操作するにはノブを回します。

Bluetoothメニューには、BT ENABLE（Bluetooth有効化）、CONNECT PH（電話機の接続）、DISCONNECT PH（電話機の切離し）、ADD PHONE（電話機の追加）、およびDELETE PH（電話機の削除）の各オプションがあります（一部のオプションは、デバイスとペアリング済みの場合のみ有効です）。

Bluetoothの有効化/無効化

ご使用のラジオでBluetoothを有効化/無効化するには、次のようにします（まだ作動していない場合）。

- ・ ラジオがオンのときに電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
- ・ ディスプレイに“BT Disable”（Bluetooth無効化）または“BT Enable”（Bluetooth有効化）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。ボリュームノブを押して、Bluetoothを有効/無効にします。
- ・ ボリュームノブを押して、Bluetoothを有効/無効にします。

以前にデバイスをペアリングした場合、電話アイコンが有効になって矢印アイコンが点滅し、以前にペアリングした電話機との再接続が試行されるまで続きます（電話機との再接続は、それぞれ3回試行されます）。

Bluetoothデバイスのペアリング

ペアリングを完了させるには、次の手順に従う必要があります。

1. ラジオおよびデバイスでBluetoothを有効にします。詳細については、ご使用のデバイスのマニュアルを参照してください。
2. 次のようにして、デバイスをラジオにペアリングします。
 - ・ 電話ボタンを3秒以上押すと、Bluetoothメニューが表示されます。

- ・ ディスプレイにADD PHONE（電話機の追加）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
- ・ ボリュームノブを押して動作を確定します。

ラジオにADDING PH（電話機追加中）と3秒間表示されます。この検出可能モードでは、Bluetoothステータスアイコンが最大3分間点滅します。電話機が見つからなかった場合は、ラジオにNO PH FOUND（電話機が見つかりません）と表示され、電話機アイコンおよび矢印アイコンが無効になります。

検出可能モードの間に、ご使用の携帯電話機でBluetoothデバイスを追加するように設定し、“DEA500 RADIO”という名前を探します。

- ・ ご使用の電話機の指示に従って接続を追加します。必要に応じて、4桁のPIN、0000を使用し、ラジオに接続します。
- ・ 携帯電話機の追加に成功すると、ラジオにPH CONNECTED（電話機に接続済み）、続いてBluetoothデバイス名が表示されます。ディスプレイにて電話アイコンが有効になり、矢印が無効になります。
- ・ ラジオがつながると、Bluetoothアイコンが点滅します。アイコンの点滅は、レシーバが携帯電話機の連絡先のダウンロードを試行していることを示しています（連絡先へのダイヤル機能用）。すべての連絡先のダウンロードが完了するか、ラジオが携帯電話機からの連絡先の受信を時間切れで終わらせると、アイコンの点滅が止まります。詳細については、ご使用の電話機のユーザーガイドを参照してください。注記1、2および4を参照してください。

デバイスの接続

ご使用のデバイスを以前にペアリングした場合、次のようにして簡単にデバイスへ接続できます。

1. 電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
2. ディスプレイにCONNECT PH（電話機の接続）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
3. ノブを押して動作を確定します。希望のデバイスを選択します（ノブを回し、ノブを押して確定します）。ラジオにCONNECTING（接続中）と3秒間表示されます。

- ラジオが接続すると、ラジオにPH CONNECTED（電話機に接続済み）とデバイスの愛称が表示され、Bluetoothアイコンが点滅します。アイコンの点滅は、レシーバが携帯電話機の連絡先のダウンロードを試行していることを示しています（連絡先へのダイヤル機能用）。すべての連絡先のダウンロードが完了するか、ラジオが携帯電話機からの連絡先の受信を時間切れで終わらせると、アイコンの点滅が止まります。ディスプレイにて電話アイコンが有効になります。

デバイスの切離し

ご使用のデバイスが接続済みで、ラジオから切り離す必要がある場合は、次の手順に従います。

- 電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
- ディスプレイにDISCONNECT PH（電話機の切離し）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
- ノブを押して動作を確定します。少しの間、ラジオにDISCONNECT PH（電話機の切離し）と表示されます。電話機が切り離されると、ラジオにDISCONNECTED（切離し完了）およびBluetoothデバイス名が表示されます。電話アイコンが無効になります。

1つまたはすべてのデバイスの削除

ラジオから以前ペアリングした1つまたはすべてのデバイスを削除するには、次のようにします。

- 電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
- ディスプレイにDELETE PH（電話機の削除）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
- ノブを押してサブメニューに入ります。
- ラジオにデバイスのリストが表示されます（ノブを回して操作します）。削除するデバイスを選択するか、ボリュームノブを押してDELETE ALL（すべて削除）を選択し、リストにあるペアリング済みデバイスすべてを消去します。ラジオにPH DELETED（電話機削除完了）と表示されます。

ハンズフリー/Bluetooth機能

ご使用のデバイスが正しくペアリング（“Bluetoothデバイスのペアリング”を参照）および接続（“デバイスの接続”を参照）されると、接続済みのデバイスにハンズフリー機能がある場合、ラジオは次のハンズフリー機能に対応します。

ダイヤルメニュー

このラジオは、デバイスから最近の通話および連絡先の情報を読み出すことができます（デバイスにてハンズフリープロファイルを有効にする必要があります。ユーザがその操作を理解しなければならない場合があります）。

デバイスが通話中でないときに電話ボタンを押すと、ダイヤルメニューにアクセスできます。

ダイヤル/リダイヤル

ユーザは、最近かけた電話番号を取り出して電話をかけることができます。電話ボタンを押すと、最近かけた電話番号がダイヤルされます。

クイックダイヤル

このラジオは、利用可能なプリセットボタンのいずれにも電話番号を保存できます。

電話番号を保存するには、“連絡先にダイヤル”機能または“最近の通話”機能のいずれかを使用して、連絡先を選択します。希望する連絡先の電話番号が表示されたら、電話番号の保存完了を確認するビープ音が聞こえるまで、いずれかのプリセットボタンを押し続けます。

保存した電話番号にダイヤルするには、メニューからQUICK DIAL（クイックダイヤル）を選択し、該当するプリセット番号を選択します。ノブを押して、保存した電話番号に電話をかけます。

プリセットを変更するには、希望する電話番号についてこのプロセスを繰り返すだけです。プリセットが上書きされます。

連絡先にダイヤル

このラジオは、携帯電話機の連絡先を読み込んで表示させることができます。電話ボタンを押してダイヤルメニューを表示し、DIAL CONTACTS（連絡先にダイヤル）が表示されるまでノブを回し、ノブを押してこの機能を選択します。ノブを回して、保存された様々な連絡先（電話機からは最大500件の電話番号、SIMからは250件の連絡先）の中から選択します。挙げられた連絡先にダイヤルする場合、OKボタンを押します。

このラジオは、各連絡先（利用できる場合）から、HOME（ホーム）、WORK（仕事）、MOBILE（携帯）、OTHER（その他）、およびPREFERRED（お気に入り）といった電話番号をダウンロードします。メニュー内にて、電話番号は、H、W、M、O、またはPに加えて10桁の番号（XXXXXXXXXX）で表示されます。

転送に成功すると、ラジオには“連絡先にダイヤル”サブメニューが表示されます。ラジオがご使用の電話機に接続するたびに、“連絡先にダイヤル”サブメニューが更新されるので、必要に応じてこの手動操作を繰り返さなければならない場合があります。

最近の通話

このラジオは、最近の通話10件をリスト表示できます（DIALED（発信）、RECEIVED（受信）およびMISSED（不在着信））。ユーザは、ノブを回して選択した通話リストを操作します。OKボタンを押して電話をかけます。注記1を参照してください。

通話オプション

ハンズフリー通話中は、次のオプションを利用できます。

通話の受信

電話がかかってくると、デバイスがこの機能に対応している場合、ラジオは大きな着信音を再生します。そうでない場合は、着信音の再生中、ユーザは着信音の音量を調整できます。13より低い音量は、次の着信用に適用されません。13以上の音量は、次の着信用に保存されます。

電話がかかってくると、ラジオには発信者の名前（わかる場合）および電話番号が表示されます。電話を受けるには、電話、ノブ、またはNEXT（次へ）のうちいずれかのボタンを押します。

通話の拒否

電話がかかってくると、ラジオには発信者の名前（わかる場合）および電話番号が表示されます。通話を拒否するには、ESC（エスケープ）またはPREV（前へ）ボタンを押します。

通話の終了

ハンズフリー通話中、ラジオには発信者の電話番号および経過時間が表示されます。通話を終了するには、電話、ESC（エスケープ）またはPREV（前へ）ボタンを押します。

マイクのミュート

ハンズフリー通話中、一時停止/再生を押すと、ラジオのマイクがミュートされます。再び押すとミュートが解除されます。

通話の転送

通話中の場合、ラジオの電話ボタンを3秒以上押すと、その通話が携帯電話に転送され、プライベートな会話ができます。再びハンズフリーモードに戻りたい場合は、このプロセスを繰り返します。注記6を参照してください。

Bluetoothオーディオ

Bluetoothプレーヤ

ご使用の接続済みデバイスがこの機能に対応する場合、ラジオへのオーディオソースとして使用でき、ご使用の電話機に保存された音楽ファイルを楽しむことができます。

この機能は、デバイスのデフォルトプレーヤにより使用することを推奨します。接続済みデバイスでサードパーティ製のプレーヤを使用した場合、機能は保証できません。ユーザが電話機内でプレーヤを変更するか操作すると、ラジオとの同期が切れることがあります。

ご使用の電話にある音楽ファイルにアクセスするには、SRC（ソース）ボタンを押してBT AUDIO（Bluetoothオーディオ）を選択します。

BT AUDIO（Bluetoothオーディオ）では、再生、一時停止、NEXT（次へ）、PREV（前へ）、早送り、巻戻し、リピートおよびランダムといったラジオボタンを使用できます。ただし、デバイスがこれらに対応している場合のみです。注記1および3を参照してください。

再生/一時停止 - これを押すと、現在のトラックを再生します。再び押すとオーディオが一時停止します。注記5を参照してください。

PREV（前へ） - これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記:トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT（次へ） - これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR（早送り/巻戻し） - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next（次へ）またはPREV（前へ）ボタンを押して保持します。

RDM（ランダム） - これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM（ランダム）アイコンで確認できます。

RPT（リピート） - これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能が有効または無効になると、RPT（リピート）アイコンが“ON”または“OFF”になります。

注記:この機能が表示されるのは、携帯電話機がこの機能に対応している場合のみです。

注記:ラジオディスプレイに表示される連絡先は、ラジオが使用中の電話デバイスから受信する情報に依存します。

注記:電話機によって機能が異なる場合があります。

注記:一部の携帯電話機は、独自のアプリケーションによってこの機能を有効化する必要があります。有効化の方法に関しては、ご使用の携帯電話機のユーザガイドを参照してください。

注記:一部の電話機では、オーディオが利用できる間、ラジオにBT AUDIO PAUSE (Bluetoothオーディオ一時停止)と表示させるものがあります。このラジオのBluetoothリモートコントロールコマンドに完全に対応していない電話機では、こうなるのが普通です。

注記:一部のデバイスでは、転送が実施されるとBluetoothを切り離します。

ラジオシステム設定

このラジオには、設定用に次の2つのメニューがあります。

- ・ オーディオコントロールメニュー
- ・ ユーザメニュー

これらのメニューは次の項で説明します。

オーディオコントロールメニュー

オーディオコントロールメニューは、ボリュームノブを2秒未満で短く押すと表示されます。

このメニューでは、ユーザは低音、中音、高音、フェード、バランス、自動EQの調整、および時計とアラーム設定の変更ができます。

オーディオコントロールメニューに入ったら、希望のオプションが表示されるまでノブを回し、ボリュームノブを押して選択します。

低音

ディスプレイには、BASS (低音) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。ノブを時計方向13に回すと低音が強くなり、反時計方向に回すと弱くなります。

中音

ディスプレイには、MIDDLE (中音) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと中音が強くなり、反時計方向に回すと弱くなります。

高音

ディスプレイには、TREBLE (高音) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと高音が強くなり、反時計方向に回すと弱くなります。

フェード

ディスプレイには、FADE (フェード) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。音をフロントスピーカー寄りに動かすにはノブを時計方向に、リアスピーカー寄りに動かすにはノブを反時計方向に回します。フェードは、2スピーカーモードでは利用できません。

バランス

ディスプレイには、BALANCE (バランス) および現在のレベルがL15 ~ R15の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと音が右スピーカーの方に移動し、反時計方向に回すと左スピーカーの方に移動します。

自動EQ

ディスプレイには、現在選択されているオプションが表示されます。ノブを時計方向および反時計方向に回すと、自動EQオプションが1 ~ 7の範囲で循環します。オプションには次のものがあります。

- ・ Pop (ポップス)
- ・ 岩用
- ・ 国名
- ・ News (ニュース)
- ・ Jazz (ジャズ)
- ・ Classical (クラシック)
- ・ 手動

希望のオプションを選択するには、ノブを再び押します。

時計

ラジオの時間を調整するには、ノブボタンを押してオーディオコントロールメニューを表示させます。ディスプレイにClock (時計) が表示されるまでノブを回し、ノブを押して時計メニューに入ります。

時計メニューに入ると、ノブを回して12時間表示か24時間表示かを選択し、押して確定できます。

最後に、表示形式の設定と確認の後、ノブボタンを押して変更を調整します。

Alarm (アラーム)

アラームを設定するには、押してオーディオコントロールメニューに入り、Alarm (アラーム) を選択して、ノブを押します。アラームメニューに入ったら、ノブを回してALARM ON/OFF (アラームON/OFF) に変更し、ノブを押して選択します。ユーザが“ALARM ON” (アラームオン) を選択すると、アラームアイコンが“ON”に設定され、次の設定オプションが表示されます。

時間

アラームの“時”の数字が点滅し始めます。表示形式は、現在の時計の選択と同一です (12または24時間モード)。ノブを回して“時”を変更し、ノブを押して“時”を確定します。その後、アラームの“分”の数字が点滅し始めるので、変更して選択を確定します。

音色設定または音楽設定

ノブを回してノブを押し、SET TONE（音色設定）またはSET MUSIC（音楽設定）に変更します。

容積

音色を選択すると、音量をLow（低）、Mid（中）、およびHigh（高）の間で変更できます（音色の音量を設定中は音が鳴りません）。音楽を選択したら、音量を0～30で調整します。

アラームのオフ

アラームを有効にした場合、アラームをキャンセルするには、プリセット3ボタンを短く押します。アラームをオフにしないでいると、この操作は63分後に自動的に切れます。

スヌーズの有効化

アラームを“SNOOZE”（スヌーズ）させるには、アラームが鳴ったときに、プリセット3以外のいずれかのボタンを2秒以内に短く押します。“SNOOZE”（スヌーズ）が3秒間表示され、アラームが9分間延期されます。

ユーザメニュー

ユーザメニューは、ボリュームノブを2秒以上押すと表示されます。

このメニューでは、ユーザは次のオプションを設定できます。

- ・ スピーカ
- ・ シーク感度
- ・ 再生設定
- ・ 照度低下
- ・ カテゴリの有効/無効
- ・ カラー調整

モデルによって利用可能なオプションは異なります。次の項の制限事項を参照してください。

ユーザメニューに入ったら、希望のオプションが表示されるまでノブを回し、ボリュームノブを押して選択します。

スピーカ（SPEAKERS）

ディスプレイには、SPEAKERS（スピーカ）および現在選択されているオプションが表示されます。このサブメニューでは、スピーカを2チャンネルか4チャンネルに変更できます。ノブを回して、2CH（2チャンネル）または4CH（4チャンネル）に変更し、ノブを押して希望のオプションを選択します。

シーク感度（SEEK SEN）

ディスプレイには、SEEK SENS（シーク感度）および現在のレベルが-2～+2の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すとシーク感度が高くなり、反時計方向に回すと低くなります。ノブを押して希望のオプションを選択します。このオプションは、ラジオがチューナモードを再生しているときだけ利用できます。

チューナ設定（TUNE CFG）

ディスプレイには、TUNE（チューナ）および現在選択されているオプション、AUTO（オート）またはMANUAL（マニュアル）が表示されます。ノブを回して、AUTO（オート）またはMANUAL（マニュアル）に変更し、ノブを押して希望のオプションを選択します。

再生設定（PLBK CFG）

このメニューでは、ユーザはNEXT（次へ）およびPREV（前へ）ボタンの設定を選択できます。ディスプレイには、現在選択されているオプション、SEEK（シーク）またはFAST F/F（高速F/F）が表示されます。ノブを回して、SEEK（シーク）またはFAST F/F（高速F/F）に変更し、ノブを押して希望のオプションを選択します。このオプションは、ラジオがCD、USB、またはiPodモードを再生しているときだけ利用できます。

照度低下

車両がCANまたはアナログ設定で照度低下を使用している場合、ディスプレイにDIMMING 0（照度低下0）と表示されます。この値は、-10～+10の範囲で調整できます。そうでない場合、ディスプレイにはDIMMING（照度低下）と現在選択されているレベルが0～30の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと照度低下が大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。

カテゴリの有効/無効（CAT E/D）

ディスプレイには、現在の選択に応じてCAT ENABLE（カテゴリ有効）またはCAT DISABLE（カテゴリ無効）と表示されます。ノブを回して、2つのオプションの間で変更し、ノブを押して選択を確定します。このオプションは、SXMモードでのみ利用できます。

カラー調整（HUE ADJ）

ラジオで利用できるカラーに応じて、ディスプレイには次のオプションのいずれかが表示されます。

- ・ AMBER（橙色）またはGREEN（緑色）
- ・ RED（赤色）またはBLUE（青色）

ノブを回して、2つのオプションの間で変更し、ノブを押して選択を確定します。このオプションは、デュアルカラーを装備したモデルでのみ利用できます。

オーディオプレーヤ（CDプレーヤ）

このプレーヤは、CDまたはMP3オーディオに使用できます。

車両がオンの状態で、ラベルを上にしてCDをスロットに差し込みます。プレーヤがCDを吸い込み、再生を開始します。

このシステムでは、次のものを再生できます。

- ・ ほとんどのオーディオCD
- ・ CD-R
- ・ CD-RW

MP3またはプロテクトなしのWMA形式。

対応する記録可能ディスクを再生すると、ディスクの品質、記録方式、記録されている音楽の品質、またはディスクの取り扱い方によって、音質が低下する場合があります。

音飛び、トラック記録やトラック検出の障害、および/またはローディングやイジェクトの障害が発生する恐れがあります。

こうした問題が発生した場合は、ディスクに損傷がないかどうか点検し、既知の良好なディスクを試してください。

CDプレーヤの損傷を回避するには

次の対応を推奨します。

- ・ すり傷や損傷があるディスクを使用しない。
- ・ ディスクにラベルを貼らない（ラベルがプレーヤに引っかかる恐れがあります）。
- ・ 差し込むディスクは1回に1枚のみ。
- ・ ローディングスロットに異物、液体、ごみを付けない。
- ・ ラベルは、マーキングペンを使用してディスクの上面に記入。

ディスクのローディングおよびイジェクト

ディスクをローディングするには次のようにします。

- ・ 車両をオンにします。

- ・ ラベル側を上にして、ディスクをスロットに差し込みます。残りの行程はプレーヤが吸い込みます。ディスクが損傷しているか不適切にローディングされた場合は、画面にエラーが表示され、ディスクがイジェクトされます。

ローディングされると、自動的にディスクが再生されます。

“イジェクト”を押すと、ディスクがCDプレーヤからイジェクトされます。ディスクが短時間のうちに取り出されない場合、自動的にプレーヤ内に引き戻されます。

オーディオCDの再生

オーディオCDを再生するには、次の手順を実施します。

1. SRC（ソース）ボタンを使用して、CDソースを選択します。
2. ラジオがCDの再生を開始し、トラック番号、曲、アーティスト、経過時間、およびアルバム情報があれば表示します。

次のコントロールを使用してディスクの再生を行います。

PREV（前へ） - これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT（次へ） - これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR（早送り/巻戻し） - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next（次へ）またはPREV（前へ）ボタンを押して保持します。

RDM（ランダム） - これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM（ランダム）アイコンで確認できます。

RPT（リピート） - これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能が有効または無効になると、RPT（リピート）アイコンが“ON”または“OFF”になります。

SCAN（スキャン）:

- ・ 短く押すと、現在再生中の部分をスキャンし始めます。
- ・ 長く押すと、トラック1からデバイス全体をスキャンします。

上のフォルダ（MP3 CDの再生時のみ利用可）

これを押すと次のフォルダが選択されます。特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1の再生を開始します。

下のフォルダ（MP3 CDの再生時のみ利用可）

これを押すと前のフォルダが選択されます。特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1の再生を開始します。

エラーメッセージ

“Disc Error”（ディスクエラー）メッセージの表示および/またはディスクの排出が発生する場合は、次の理由のいずれかが該当する可能性があります。

- ・ ディスクのフォーマットが無効または不明です。
- ・ ディスクが高温です。常温に戻ってから再試行します。
- ・ 路面が荒れています。路面が滑らかな時にディスクを再試行します。
- ・ ディスクが曲がっています。
- ・ ディスクに汚れ、すり傷、濡れがあるか、裏返しです。
- ・ 湿度が高くなっています。時間をおいてディスクを再試行します。
- ・ ディスク作成時に障害がありました。
- ・ ラベルがCDプレーヤに引っかかっています。
- ・ 他の理由でディスク再生が正常でない場合、既知の良好なCDで試してみます。
- ・ エラーが続く場合、最寄りのディーラに連絡してください。

MP3

MP3 CDの再生：

MP3 CDを再生するには、“オーディオCDの再生”と同じ説明に従います。

MP3ディスク作成の際は、次のガイドラインを満足する必要があります。そうでない場合、再生できない可能性があります。

MP3ファイルの場合：

- ・ ビットレート：32, 40, 48, 56, 64, 80, 96, 112, 124, 160, 192, 224, 256, 320 kbps
(MPEG-1 Audio Layer 3)

- ・ サンプリング周波数：32, 44.1および48 kHz
(MPEG-1 Audio Layer 3)
- ・ 最大フォルダ数：8フォルダ。各フォルダに255ファイルまで
- ・ 1つのディスクに最大1,000ファイル
- ・ M3UおよびPLSプレイリストの各バージョンに対応
- ・ 容量700 MBのCD-RまたはCD-RWへの記録。

プロテクトなしのWMAファイルの場合

- ・ バージョン：1, 2, 7, 9および9.1
- ・ ビットレート：32 ~ 320 kbps
- ・ サンプリング周波数：32 ~ 48 kHz

ミュージックナビゲーションCD MP3およびUSB

CD, MP3, またはUSBソースが有効な状態で拡大鏡（プリセット2）ボタンを押し、CD MP3/USBミュージックメニューにアクセスします。

ボリュームノブまたはNext/Prev（次へ/前へ）ボタンを使用して、種々のオプションを操作します。

このラジオには2つのオプションがあります。

フォルダモード

ボリュームノブを押すと、ディスクに保存されているフォルダが表示されます。フォルダを選択して、そのフォルダに入っている全曲のリストを表示させます。リストが表示されるまで、時間がかかる場合があります。リストから1曲選択して再生を開始させます。

最大5層のフォルダ構造に対応しています。アルファベット順にフォルダ、続いて曲が表示されます。

このモードでは、最初にフォルダが、最後にそのフォルダのトラックが表示されます。

プレイリストモード

ボリュームノブを押すと、ディスクに保存されているプレイリストが表示されます。プレイリストを選択すると、現在選択中のプレイリストの最初のトラックの再生が開始されます。リストが表示されるまで、時間がかかる場合があります。

特別な留意事項

ルートディレクトリ：

ルートディレクトリは、1つのフォルダとして扱われます。ルートディレクトリ内のフォルダより先に、ルートディレクトリに直接入っているすべてのファイルにアクセスします。

空のフォルダ

ルートディレクトリまたはフォルダが空の場合、またはフォルダのみ含む場合、プレーヤーは、ファイル構造内の圧縮オーディオファイルを含む次のフォルダに進みます。空のフォルダは表示されず、番号も付けられません。

ヒューズ

ラジオのヒューズは、車両のヒューズボックス内にあります。

最適なヒューズの値は10 A ~ 15 Aです。

ヒントおよびトラブルシューティング チャート

ラジオ:

放送局にチューニングできません。

- ・ 電波が弱い地域にいます。
- ・ シーク感度を高くします（詳細は、“シーク感度”の項を参照）。

CD:

CDプレーヤーが機能しません。

CDプレーヤーが作動範囲外になっている可能性があります。CDの作動温度は-20° C (-4° F) ~ 55° C (131° F)です。

状況に応じて、車両の室温を高くするか低くしてください。

CDを差し込めません。

- ・ CDプレーヤーにすでにCDが入っています。
- ・ CDをイジェクトして取り出します。

iPod

iPodが再生しないか、音が出ません。

iPodが認識されていません。

- ・ 対応するiPodであることを確認します。
- ・ 対応するiPodの場合、iPodをリセットして再び接続します（詳細は、iPodの項を参照）。

iPodが機能しません。

iPodが作動範囲外になっている可能性があります。iPodプレーヤーの作動温度は-20° C (-4° F) ~ 85° C (185° F)です。

車両の室温を高くするか低くして、人が耐えられる範囲にしてください。

Bluetooth

ラジオがBluetooth対応デバイスを認識しません。

次のうちいずれかの措置を試行します。

- ・ デバイスを取り外し、その後、そのデバイスをペアリングおよび接続します。“1つまたはすべてのデバイスの削除”、“Bluetoothデバイスのペアリング”、および“デバイスの接続”の各項を参照してください。
- ・ デバイスがオンになっていることを確認します。
- ・ ご使用のラジオのBluetoothアダプタが有効になっていることを確認します。“Bluetoothの有効化/無効化”の項を参照してください。
- ・ デバイスが圏外にある可能性があります。もっと近くに移動させてみます。

デバイスとラジオが通信しません。

次のうちいずれかの措置を試行します。

- ・ 接続したいデバイスを正しく選択していることを確認します。例えば、以前にペアリングしたデバイスを2つ以上持っている可能性がありますので、正しいデバイスを選択していることを確認します。
- ・ デバイスによっては、ラジオに接続する前にパスワードが必要な場合があります。
- ・ おそらく、入力したパスワードが間違っていたか、パスワードを入力している間に時間切れになっています。“デバイスの接続”の項を参照してください。
- ・ デバイスが電波を使用する他のデバイス（電子レンジ、コードレスフォン、電子機器や照明のリモコン、または802.11無線ネットワーク）の近くにある場合、そうしたデバイスによる干渉が生じている可能性があります。作動しないデバイスを他のデバイスから遠ざけてみてください。

デバイスの音楽が聞こえません。

- ・ デバイスがペアリングおよび接続されていることを確認します。“Bluetoothデバイスのペアリング”および“デバイスの接続”の各項を参照してください。
- ・ ソースリストメニューにてBT AUDIO SRC（Bluetoothオーディオソース）が選択されていることを確認します。PWR SRC（電源、ソース）ボタンの項を参照してください。
- ・ ノブを回してラジオのボリュームを調整します。
- ・ ご使用のデバイスが一時停止になっていないことを確認します。
- ・ ご使用のデバイスに音楽ファイルがあることを確認します。

リアシートオーディオ（RSA, Rear Seat Audio）

RSAにリンクなしと表示されます。

このラジオは起動に最大15秒かかるため、RSAを使用してラジオを起動し、ラジオがスリープモードに入っていると、ラジオを起動している間、RSAには“No-link”（リンクなし）と表示されます。この時間の経過後、通信は再び確立されます。

登録商標およびライセンス契約

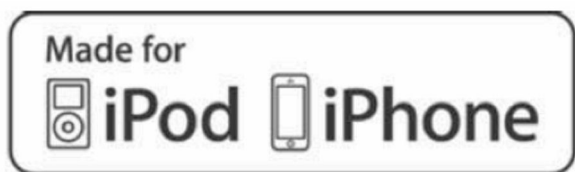


図 7

g06229251

“Made for iPod”および“Made for iPhone”は、電子アクセサリがiPodまたはiPhoneへの接続専用に設計され、Appleの性能基準に適合していることを開発者が保証したことを示しています。

iPod, iPodTouch, およびiPhoneは、Apple Computer, Inc. の米国 およびその他の国々における登録商標です。

SiriusXM



図 8

g06229256

“SiriusXM”は、このラジオがSiriusXMの基準に適合するように設計され、適合が保証されたことを示しています。

SiriusXMは、SiriusXM Companyの米国における登録商標です。

FCC情報

このラジオは、Federal Communications Commission（FCC，連邦通信委員会）規則のパート15および Industry Canada（カナダ産業省）の基準，RSS-GEN/210/220/310に適合しています。

索引

英数字

安全について	2
安全上の基本的注意事項	5
Introduction	5
運転準備	5
警告および遵守	5
前書き	5
注意	5
注意事項	5
運転操作編	10
作動	10
車両の一般情報	6
車両識別情報	6
順守宣言	8
法規制の順守	6
CAN ICES-3 (B) /NMB (B)	6
FCCクラスBデジタル装置に関する注意事項 ..	6
FCCに関する注意事項	6
改造に関する声明	6
干渉	6
簡易的なEU適合宣言書/RED 2014/53/EU指 令	6
放射線被ばく	6
無線周波数範囲	6
目次	3

は

はじめに	4
サービス資料の内容	4
安全について	4
作動	4
製品の能力	4
製品情報	4
保守整備の間隔	4
保守整備編	4

ら

ラジオ (娯楽用, 装着の場合)	10
Introduction	10
ステレオレシーバ	10

製品および特約代理店情報

注記：製品識別プレート取り付け位置に関しては、”取扱説明書”の製品識別情報をご参照ください。

納品日：_____

製品情報

機種：_____

製品識別番号：_____

エンジン・シリアル番号：_____

トランスミッション・シリアル番号：_____

発電機シリアル番号：_____

付属装置シリアル番号：_____

付属装置情報：_____

顧客装置番号：_____

特約代理店装置番号：_____

特約代理店情報

店名：_____ 支店：_____

住所：_____

	特約代理店連絡先	電話番号	営業時間
販売：	_____	_____	_____
部品：	_____	_____	_____
整備：	_____	_____	_____

